

被ばく線量に関するセミナー

—こんな時どうしますか？—

突然ですが、ご自身の個人被ばく線量の結果が、基準線量（ケア線量）を超えた場合、あるいはスタッフにそのような方がおられた場合、どう対応しますか？あるいは、事務管理部門の方から、職員の被ばく管理に関して問い合わせがあった場合、対応できますか？

近年放射線管理に関する様々な問題が発生しています。当会では、会員の皆様が日常業務で困らない様、基本的な知識と対応の仕方に関するセミナーを開催いたします。

講師は、千代田テクノル 工藤 亮裕 先生です。皆様のご参加お待ちしております。

日 時：平成 31 年 3 月 9 日午後 1 時より受付

会 場：青森市民病院 3 階大会議室

参加費：青森県診療放射線技師会会員 無料

非会員 1000 円

プログラム

13：30～14：30 第 1 部 基本の基本

座長：国保 大間病院 森脇 公洋氏

講師：千代田テクノル 工藤 亮裕先生

- 1.個人被ばく線量結果の見方
- 2.個人被ばく線量結果の管理と運用
- 3.院内での診療放射線技師の役割

14：40～16：10 第 2 部 各施設の個人被ばく線量管理（作業従事者、患者様）の報告

座長：青森県立中央病院 佐藤 兼也氏

青森市民病院 川村 匡敦

青森県立中央病院 従事者被ばく管理に関して 福士 英人

青森県立中央病院 医療被ばく管理に関して 前田 紀子

弘前大学医学部附属病院 大湯 和彦

16：20～16：50 第 3 部 労働基準監督署の是正勧告書に関する報告

弘前大学医学部附属病院 成田 将崇

16：50～17：20 Q&A

セミナー終了後、情報交換会を予定しております。参加される方は、受付時にお申し込みください。